

## ワーキンググループ間の連携、調整、共通認識が必要な事項

## ＜全般的な事項＞

## ● 成果のまとめ方

⇒(要約の英語化) 中間報告書ができた後、事務局において改めて考えさせていただきたい。

⇒(参考文献等の資料整理) 参考資料などを、会議資料として保管してはどうか。

## ● 報告書のわかりやすさのレベル

⇒数式等の扱いをどうするか。

## ＜各分野に係る事項＞

## ● 林業の扱い

⇒産業としての林業の適応については、コラムで扱ってはどうか。

## ● 海洋酸性化の扱い

⇒2030 年の段階では海洋酸性化はほとんど進行していないため、自然生態系分野（あるいは食料分野の水産業）で話題として触れる程度でどうか。

## ● 砂浜の扱い（鳥類の保全や海水浴利用などの視点）

⇒防災・沿岸大都市分野と自然生態系分野の双方で扱ってはどうか。

## ● 水に関わる事項の扱い

⇒ある程度の重複を前提に各分野で扱ってはどうか。

## ● 国民生活・都市生活分野に対する各分野の知見のインプット

⇒各分野の作業内容を、国民生活・都市生活 WG にインプットする。

⇒特に国民の生活に密接に関わる影響・適応の情報もインプットする。

## ● 途上国分野に対する各分野の知見のインプット

⇒各分野において途上国が関連する脆弱性マップ等があれば、途上国分野にインプットする。